

NO15 平成27年11月6日



# 北山村

編集発行  
和歌山県北山村議会  
TEL 0735-49-2331  
FAX 0735-49-2207

# 議会だより



平成27年9月定例会（9月9日～11日）が開催されました

平成26年度 決算認定

P2～5

平成27年度 補正予算の審議

P6

議員が村政を問う（一般質問）

P7～12

村民登場「北山村に移住して」（前川康洋）

P13

議会日誌

P14

## 平成27年9月定例会 ～決算認定・補正予算等を審議～

平成27年9月定例会は、9月9日～11日（会期3日間）に開催されました。

本定例会は、国体カヌー競技の開催を考慮し開会日程を例年より早めました。初日は、平成26年度一般会計及び各特別会計の決算8件が提出され、慎重審議の結果、どの会計も正しい運営がされているものと認定しました。

また、平成27年度の議案6件や、平成26年度決算に基づく健全化比率など報告2件、教育委員会委員の任命1件がそれぞれ提出され、原案どおり可決承認しました。

### 決算承認について

- 認定第1号 平成26年度北山村一般会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第2号 平成26年度北山村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第3号 平成26年度北山村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第4号 平成26年度北山村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第5号 平成26年度北山村簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第6号 平成26年度北山村国民健康保険直営診療所特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第7号 平成26年度北山村地域振興事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第8号 平成26年度北山村温泉施設事業特別会計歳入歳出決算の認定について

### 条例案について

- 議案第36号 北山村個人情報保護条例の一部改正について
- 議案第37号 北山村手数料条例の一部改正について
- 議案第38号 和歌山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び和歌山県市町村総合事務組合規約の変更について

### 予算について

- 議案第49号 平成27年度北山村一般会計補正予算(第2号)について
- 議案第50号 平成26年度北山村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について
- 議案第51号 平成26年度北山村介護保険特別会計補正予算(第1号)について
- 議案第52号 平成26年度北山村温泉施設事業特別会計課補正予算(第1号)につ

### 報告・同意

- 報告第3号 平成25年度決算に基づく健全化判断比率について
- 報告第4号 平成25年度決算に基づく公営企業における資金不足比率について
- 同意第2号 北山村教育委員会委員の任命について



## 平成26年度一般・特別会計決算額

★ 昨年度の一般会計決算は、歳入では、12億9,671万円(前年度比0.48%増)、歳出では、11億9,203万円(昨年度比1.51%減)となり、実質収支は6,165万円の黒字となりました。一般会計と特別会計を合わせた総決算額は、歳入では、21億2,701万円、歳出は、20億664万円となり、実質収支は、6,651万円の黒字となりました。

(単位：千円)

会計別	歳入	歳出	繰越財源	実質収支(差額)	
一般会計	1,296,714	1,192,031	43,024	61,659	
特別会計	国民健康保険	105,935	102,541	0	3,394
	介護保険	83,090	81,641	0	1,449
	後期高齢者医療	25,550	25,550	0	0
	簡易水道	130,626	130,624	0	2
	国保診療所	67,623	67,619	0	4
	地域振興事業	292,635	281,801	10,829	5
	温泉施設事業	124,837	124,835	0	2
	特別会計合計	830,296	814,611	10,829	4,856
合計	2,127,010	2,006,642	53,853	66,515	

## 平成26年度 一般会計会決算状況

歳入

(単位：千円)

区分	平成25年度		平成26年度		
	決算額	構成比	決算額	構成比	
自主財源	村税	68,446	26.3	66,804	25.8
	分担金及び負担金	696	0.3	697	0.3
	使用料及び手数料	11,318	4.4	12,352	4.8
	財産収入	6,327	2.4	1,382	0.5
	寄付金	376	0.1	663	0.3
	繰入金	56,157	21.6	80,905	31.3
	繰越金	106,657	41.0	80,183	31.0
	諸収入	10,059	3.9	15,609	6.0
	合計	260,036	20.1	258,595	100.0
依存財源	地方贈与税	6,838	0.7	6,503	0.6
	利子割交付金	822	0.1	906	0.1
	地方消費税交付金	4,397	0.4	5,266	0.5
	自動車取得税交付金	1,868	0.2	822	0.1
	地方特例交付金	0	0.0	0	0
	地方交付税	701,315	68.1	653,445	62.9
	国庫支出金	126,235	12.3	142,033	13.7
	県支出金	65,800	6.4	111,744	10.8
	村債	123,200	12.0	117,400	11.3
	合計	1,030,476	79.9	1,038,119	100
総合計	1,290,511	100.0	1,296,714	100	

## 歳出

(単位:千円/%)

区 分	平成25年度		平成26年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比
議会費	36,089	3.0	37,045	3.1
総務費	402,511	33.2	203,737	17.1
民生費	209,473	17.3	163,858	13.7
衛生費	60,272	5.0	59,937	5.0
農林水産費	111,072	9.2	158,780	13.3
商工費	58,176	4.8	112,663	9.5
土木費	80,701	6.7	190,903	16.0
消防費	29,035	2.4	56,325	4.7
教育費	54,347	4.5	78,628	6.6
災害復旧費	29,984	2.5	3,253	0.3
公債費	138,668	11.4	126,902	10.6
予備費	0	0	0	0
合 計	1,210,328	100.0	1,192,031	100.0

## 財政力指数 / 基金と村債

★自治体の財政状況を評価するものとして、基金や村債（借金）、ほかに、財政力指数や経常収支比率、公債費比率などの各種財政指標があります。村の財政が適正に運営されているか？基準となるものです。

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
財政力指数	0.117	0.106	0.095
経常収支比率 (%)	68.1	66.7	70.9
基金合計 (貯金)	12億1,937万円	14億6,577万円	13億8,303万円
地方債現在高 (借金)	12億4,215万円	13億2,770万円	13億9,643万円
実質公債費比率 (%)	4.6	4.7	3.9

★財政力指数は0.1以下で推移しており、税収など自主財源が少ない分、財政力指数は低くなっています。財政力指数とは、地方公共団体の財政力を示す指数で、大きいほど財政に余裕があるという指数です。財政力指数が1.0を超えた場合は、裕福な団体であり、国から普通交付税がありません。

★経常収支比率とは、財政構造の弾力性を判断する指標であり、比率が低いほど弾力性が大きいことを示します。人件費・扶助費・公債費等の経常的経費（必ず支出しなければならない「固定費」）が占める割合で、比率が高いほど自由に使えるお金の割合が減り、低いほど使えるお金が多く、財政に余裕があるということです。目安として、75%～80%未満なら妥当であると言われています。

★実質公債費比率とは、自治体の収入に対する負債返済の割合を示すもので、18%以上だと、新たな借金（村債）をするために国や都道府県の許可が必要で、25%以上だと借金の借入が制限されます。国が危険と定める基準値以下であり、健全な運営が行われていることが示されています。

## 平成26年度に行われた主な事業

(単位：千円)

予算科目	内容	金額	予算科目	内容	金額
総務費	太陽光発電設備設置工事	14,234	商工費	観光看板設置工事	10,260
〃	公用車購入	5,362	〃	公衆トイレ改修工事	7,535
〃	戸籍電算システム	9,698	土木費	村道上滝下滝線道路防災対策工事	15,198
〃	浄化槽設置工事	5,616	〃	村道四の川線道路防災対策工事	19,403
民生費	福祉センター排水管改修	3,983	〃	村道市老谷線道路防災対策工事	19,073
衛生費	不法投棄防護柵設置工事	1,197	〃	村道四の川線道路改良工事	21,977
農林水産費	出谷線階段設置工事	1,777	〃	村道竹原寺ノ下線道路改良工事	7,075
〃	相須大谷線舗装補修工事	3,894	〃	村営住宅建設工事	41,374
〃	林道出谷線改良工事	26,460	〃	下尾井地内排水路整備工事	4,424
〃	林道平田大谷線開設工事	70,443	消防費	防災倉庫・消防車庫建設工事	25,933
〃	農地台帳システム	2,322	〃	消防救急デジタル無線整備負担金	7,892

## 決算審査意見書

【総括】各会計歳入歳出決算書については、関係法令に準拠して作成され、計数はいずれも正確であることを確認した。また、予算執行は的確に行われ、かつ収入支出は合法的に行われており、適正であると認めた。また、財政運営及び資金収支は効率的に行われ、基金の状況についても、計数は正確で、適正であると認めた

## 【審査の主な個別意見】 ※抜粋

村税の滞納について

徴収率は、前年度の98.6%から0.4ポイント上昇し99.0%と高い数値を維持しており、引き続き、徴収事務の強化に努められたい。ただ、ここ数年、滞納額が縮減した背景には、不納欠損処分によるところが大きく、税負担の公平性確保のためにも、慎重かつ厳正な取扱いに努めていただきたい。また、口座振替や期限内納付の一層の推進を図り、徴収率の維持向上に取り組んでいただきたい。

各種団体への補助金及び委託金について

補助金交付がなされた事業、団体については、補助金等交付規則に準じ、事業報告、収支報告等によって、その事業の成果を確認するとともに、補助金交付の有効性、必要性、相当性を検証し、その後の補助金交付の是非を確認することを徹底していただきたい。

予算執行について

歳出の予算執行率は、前年度96.5%に対し1.7ポイント低下し、94.8%となった。これにより不用額は、一般会計で68,415千円、前年度より20,300千円増加している。不用額の発生は、経費の節減に努めたことによるものや事業実績が見込を下回ったことによるものであるが、財政運営が厳しい中で財源の有効な活用を図るため、引き続き、予算計上時に精度の高い所要経費の見積りを行い、効率的な予算執行に努められたい。

経営分析

村税等の自主財源比率は約20%で、財政状況の指標となる財政力指数は近年で最も低い0.09%である。普通交付税(▲46,354千円)や前年度繰越金(▲35,606千円)などの減少に加え、人件費や物件費などの経常的経費が増加しており、経常収支比率は前年度の66.7%に対し70.9%と4.2ポイント上昇している。また、実質公債費比率の3ヵ年平均は4.3~5.0%と低く推移しているが、今後の林道網開設や簡易水道編成など大型公共事業に加え、消防防災施設の整備等、起債償還額の増加が懸念されている。地方債の発行にあたっては、財政の健全性を保ちながら、計画的かつ効率的な財政運営に取り組んでいただきたい。

**平成27年度一般会計補正予算 ～4,518万円を追加～**

今年度の一般会計補正予算（第2号）は、歳入歳出それぞれ4,518万円を追加し、総額12億123万円となりました。歳入の主なものは、地方交付税が8,533万円、国及び県の支出金が、1,225万円です。歳出は、総務費81万円の増額、民生費177万円の増額、衛生費6万円の増額、農林水産業費522万円の増額、商工費8万円の増額、土木費1,150万円の増額、消防費991万円の増額、災害復旧費が1,580万円の増額です。

**【一般会計歳出の主な内容】**

(単位：千円)

予算科目	内容	金額
総務費	庁内ネットワーク更新手数料	813
民生費	社協補助金（食器洗浄機）	1,000
農林水産業費	有害駆除補助金	422
〃	林道維持補修費	1,500
〃	林道草刈委託	300
〃	林道出谷線開設工事	3,000
土木費	奥瀬道路開通式費用ほか	2,500
〃	国道用地残地購入費（竹原）	5,205
〃	村道維持管理費	1,500
消防費	団服（防災機能）	378
〃	ヘリポート整備事業（中洲）	8,400
災害復旧費	測量設計委託料	700
〃	村道上滝下滝線道路災害復旧	15,000



ヘリポート整備 大沼中州広場  
アスファルト塗装 20m×20m



村道上滝下滝線道路災害復旧（小松）  
（平成27年7月台風第11号被害）L=25m



林道出谷線開設（本年度事業） 四の川  
L=148m 3600万円

## 議員が村政を問う

平成27年9月定例会で次の質問ができました。

## 久保 隆俊

- 改正マイナンバー法の成立について  
マイナンバー法成立によって行政としての運用、活用方法について
- 健康保険証と同一サイズと思われるが紛失されたときの対応は？  
マイナンバーの診療所での活用は・・・メタボ検診や予防接種の記録も番号と結びつけると聞いているが、他市町病院との連携も図られるのか？ 病歴、薬剤投与のダブリを無くすなど。

## 福 村 尚

村政全般

- 村営バスの運行について・・・週3日（月水金）七色から新宮医療センター等への運行はできないか？
- 竹原防災道路について
- 高齢者福祉センターの増床について 3床？ 5床？
- 中州開発について（石破地方創生大臣を迎え）
- 奥瀬道路3期工事について

## 山口 賢二

- 支援ハウス居室の増室について・・・増室数、財源の確保、スタッフの確保等、今後の取り組みは？
- 有償運送の取り組みについて・・・利用状況の把握は？利用への補助金による手当て等の検討は？
- 集合住宅の建設計画について・・・その後、計画はどうなっているのか？

## 久 保 学

- 基準について・・・条例施行（年月日）は？職員募集、村政住宅入居の基準の順守。
- 安保健案について・・・賛成、反対、考えは？

## 葛城 健也

- 一般国道169号奥瀬道路（2期）開通に伴い
- 通年の観光客の集客方法について・
- 小松から下尾井間の道路拡幅について
- 定住促進施策について・・・今後の子育て支援について



# 改正マイナンバー法の成立について

## 久保隆俊



### 改正マイナンバー法の成立

【質問】社会保障・税番号におけるマイナンバー法と個人情報保護法の改正法が成立した。この法によって行政やビジネスで個人情報をより活用しやすくなるものの、情報漏れや悪用の不安、またカードを読み込むときの準備に時間や経費がかかると思われる。この法案の活用並びに運営方法のメリット、デメリットをまずお聞きしたい。

【回答】平成29年1月から国の行政機関が情報連携、同年7月から地方公共団体機関での情報

連携が始まる。市町村間の転入・転出時の情報連携が一番のメリットであるが、北山村のように転入、転出の少ない市町村では大幅な事務の効率化にまでは至らない。また、マイナンバーの独自利用であるが、個人情報の保護の観点から条例の改正の制定、また特定個人情報保護委員会への届出、同委員会での届出内容の精査、確認、同委員会のホームページ上の公表等手順を踏むために、利用開始までの期間が1年以上かかる。近隣の状況も考慮し、独自利用について検討をしたい。(住民福祉課長)

【質問】診療所でのマイナンバーの利用は十分期待できる。

例えばメタボ健診、予防接種の記録等が番号と結びつけられる。その辺の考えはないのか？

【回答】医療機関の活用は、まだはつきり決まっておらず、29年の7月以降に検討される予定

である。特定健診は、市町村国保や健康保険組合など保険者が行うもので、被保険者が転居、就職、退職により保険者を異動した場合でも、マイナンバーを活用した情報を保険者間で円滑に引き継ぐなど、過去の健康情報等の管理を効率的に行うことが可能となる。また予防接種についても、転入、転出の転居者の情報として、マイナンバーの利用により転居前の予防接種の履歴を正確に把握することで、より一層の有効性、安全性が確保できるものと思われる。(住民福祉課長)

【質問】他市町病院とのマイナンバーの連携は可能なのか？

可能であれば、結局病院と薬剤投与のダブリがなくなる。その辺の展望はどうなのか。

【回答】健康保険証機能や医療情報については、患者の病歴等機密性の高い情報を含み、これをマイナンバー等の公開されたものと同一にする危険性や国民に与える不安などを考慮して、今

後、課題となっている。今のところそのマイナンバーではなくて、マイナンバーとは別な医療IDということも検討されている。(住民福祉課長)

【質問】マイナンバーにおける再交付手数料1件につき500円、そして、個人番号カードの再交付は1件800円、この辺は、これは全国的なのか、もしくはこれと違った形が各市町村に見られるのか。

【回答】カードの手数料につきましては、和歌山県下30市町村どことも、同じ料金になっている。この料金の方の情報というのは、個人番号カード、通知カードを作成するときに厚生労働省の方から得た情報となり、ほんどのところがこの金額になるかと思われる。(住民福祉課長)





# 村政全般

## 福村尚



村営バスの運行について

【質問】奥漣道路2区間の開通に併せ、平成28年4月には北山村と新宮市との消防救急業務が連携される。そこで、新宮市までの距離が相当に早くなることに伴い、現在の福祉バスの北山村と熊野市間とは別ルートとして、奥漣道路を利用し、七色から大沼、下尾井、小松を通って、新宮医療センターまでワンストップで行く小型の自動車の運行ルートを検討すべきと思う。毎日ではなく、月水金の週3日ほど運行で、時間に余裕があれば、太地の南紀園まで行き、身内を見舞いに連れていくこともできる。来年4月を目処に、そのような

福祉バス運行の方法を是非行ってもらえないか。

【回答】奥漣道路が開通により新宮方面へのアクセスがよくなり、時間も大幅に短縮される。新宮方面へのバスの運行については検討する価値はある。ただ、公共交通会議に諮る必要とか、バス台数の確保とか、現在進めていまず有償運送との関連等いろいろ課題をクリアしていく必要がある。現行の福祉バスの方も、現在28人乗りのバスで運行しているが、通常は空いており、現行の福祉バスの運行のあり方も同時にいろいろ検討しながら、前向きに検討を行ってきたい。

(総務課長)



【質問】高齢者福祉センターの増床は、27年度予算で設計委託料が計上され、28年度予算で建設が見込まれる。特にその段階では、3床にするか5床にするかということが検討されるが、職員や宿直要員など人材確保や財政的にも種々問題がある。

先般の12月定例会でも、これまで村内で入居希望したものの施設が満杯で入れなかった人為例に、増床は必要ではないかというような提案している。

来年に向けて3床か5床か見解をお伺いいたします。

【回答】生活支援ハウスの増床は、6月の全員協議会で、承認いただき、5床増床する計画で設計を行い、その内容によって再度増床を行うかと、3床にするのか5床にするのかを協議するということになっている。今のところは、個室を5床増床するということで設計を行う形で打ち合わせしている状況である。

(住民福祉課長)

大沼中州の総合開発

【質問】中州開発であるが、道路改良工事などのトンネルの土砂で埋め立てを行い、その場所に、役場や農協、郵便局、森林組合、商工会、消防庁舎、ジャバラ加工場など併設するの総合庁舎を建設する。面積は4,000坪ぐらいできると思っている。これを進めるためには、相当な勇気が必要で、事業費については私の試算では大体50億程度が見込まれる。そのため一度、地方創生担当の石破大臣を呼んで、陳情しては如何か？

【回答】近いうちに南海トラフに起因する大地震が起こったときにダムがどうなるのか検証できていない。それがきちつと検証できるんなら、そういう計画は、非常にいい線だと思う。

例えば土砂災害に対しても一番安全に避難させられるのは、中州の場所である。開発は数十億となるが、全体の地方創生をどうするかというような観点から議論をしないといけない。

(村長)

支援ハウス居室の増室について

山口 賢二



高齢者生活支援ハウス

【質問】支援ハウス居室の増室について、私の考えは、5床で良いが、5床増やした場合の、施設スタッフの確保、それに係る建設費用や今後の運営費用、など問題が生じる。その辺、執行部は見据えてあるのか。

社会福祉協議会でも最近ヘルパーが不足している。村内では人が賄えないという状況の中で、運営の問題点など、今後どのような対応をするのか。

【回答】運営に関する財源については既に説明しており、入居者数によって交付税措置がされ、その人員により大幅に差がある。11名以上だったら1,000万以上の交付税があるが、それに至らなかったら400万から500万ぐらいの交付税になるという形の説明はさせていた。増床した場合のスタッフであるが、調理員が、今の1名のところ、2〜3名の臨時が雇用されており、これを2名体制にしなければならぬ。また、宿直にしても今の1名から2名体制が必要である。ヘルパーにしても、今の常時2〜3名を、その入居の人数や介護状態等によって人数を増やさなければならぬ。その確保については、増床決まってから募集を行いたい。

(住民福祉課長)

有償運送について

【質問】有償運送の取り組みであるが、現在、どのような形になっているのか説明をいただきたい。

集合住宅について

【質問】集合住宅の建設計画はどうなっているか？

【回答】現在、社会福祉協議会と協議で、三重県のNPO法人にお願ひし介護保険や障害者手帳保持者を対象とした福祉有償運送によるサービスを行っている。これを社会福祉協議会で実施するので、対象を北山の住民であれば誰でも利用できるような形となる。制度としては交通空白地有償運送という制度を利用して実施を予定している。料金はタクシーの半額程度の額を予定しており、料金設定は、通院の場合は医療機関が北山村の場合遠いということもあり、新宮市の医療センターを目的とするならば往復で1万を超える料金にもなる可能性もある。料金については、検討を行っている状況であり、運転手については、運転手講習を予定しており、とりあえず社協の職員、ヘルパー民生委員を予定しているところである。

(住民福祉課長)

【回答】本年度は過疎計画を新しくつくる年度で、28年度から5年間の過疎計画をつくることとなっている。その中で、多目的に利用できるような単身者の集合住宅4棟の建設計画を28年度に行うことで盛り込んでいます。事業費は6,000万円ほどの計画となっている。

(総務課長)



基準について(職員募集、村営住宅入居)

久保学



【回答】役場職員の採用については地方公務員法により採用の方法とか受験資格、採用試験の募集等が定められ、この地方公務員法を遵守している。

村の住宅についても、その住宅の建設の目的により、条例、規則に入居基準とか募集方法があり、その種類によってその内容が異なっている。村で4種類の目的を持った住宅がある。

①公営住宅法によって国の補助金を受けて建設した住宅が14棟あり、入居資格は公営住宅法を遵守しながら行っており、条例の中で、入居の募集方法は各地区にある掲示板によって募集して、入居者選考委員会を開催して入居者の決定を行うということになっている。

②緑の雇用担い手住宅は、下尾井に4棟、竹原に2棟あり、入居者資格は、農林業等の地域の産業に従事する者から村長が

選定の上、決定するということが条例にうたわれている。入居者の選考委員会の開催規定とか募集の規定はない。

③定住促進住宅は、下尾井2棟、七色2棟、大沼に7棟あり、入居資格は林業従事者または地域の活性化となる移住者で、村長の許可を受けて入居ということとがうたわれている。入居者の選考委員会の開催の規定とか募集の規定等はない。

④若者、後継者、林業等後継者住宅は、大沼六水に4棟ある。入居資格は、後継者、農林業等の後継者、村内に勤務場所を有する者で、入居日におきまして年齢が18歳以上40歳以下の単身者とうたわれている。この住宅につきましても選考委員会の関係は、入居の申し込み者が部屋数をオーバしたときは入居者選考委員会を開催しなければならぬというふうな条例でうたわれている。

以上のとおり、住宅の種類によつていろいろ基準が違っているが、今までこういった目的を持った住宅であつても空いている場合は、目的にはそぐわないけれども住宅に困っている方があつた場合については入居を許可した経緯もある。

後継者の採用であるが、北山振興株式会社であるので、答弁は差し控えたい。今後、色々なケースが出てくるが、職員の採用とか住宅入居等については上位法とか条例、規則を遵守しながら行きたい。(総務課長)



国体ラフティング体験 (H27.10/1)

定住促進施策について(子育て支援について)

葛城 健也



定住促進施策について

【質問】 少子高齢化対策として、出産祝い金、小中学校の給食の無料化、18歳までの医療費無料化、住宅補助金、家を購入する時の改修の補助金等々いろいろ施策を行っているが、保育所の入所年齢の引き下げや、委員会での廃案となった「高校進学助成金制度」など、やはりこの村で子供が育て易い環境をつくっていくための思い切った施策が必要である。最優先課題であると思うが、若者に定住してもらうための施策をどのように考えているのか？

【回答】 定住促進の施策に関してこれまで手を入れてきたが、高校進学助成金制度など廃案になった経緯もある。単純に子育てのための支援として、お金をばら撒くのではなく将来に希望がもてるような施策が必要である。例えば、今我々が取り組んでいる国際化に向けての英語教育や海外研修もその一つである。彼らの将来のために役立っていけるものを皆で議論していき

(村長)

【質問】 村の関係機関である、役場や温泉、社会福祉協議会や北山村振興(株)など、その多くが村に直結した施設で雇用されている。しかし、役場など、一部の職員が村外から通勤している実態がある。

村内に生涯定住してもらいための施策が重要ではないのか？子育て支援・教育への支援に積極的に取り組んでいただきたい。

【回答】 個人的な事情もあるのだろうが、基本的には地域に住んで定住してもらうことは原則である。そういう面での良い施策があるなら積極的に取り入れたい。難しい面があるが、その辺を踏まえながら取り組んでいきたい。

(村長)

奥瀬道路Ⅱ期区間開通に伴い

【質問】 奥瀬道路が事業化される30年。Ⅱ期区間5.2kmの開通式が9月13日に行われる。引続き、小松く下尾井間の奥瀬道路Ⅲ期工事であるが、国道169号奥瀬道路延伸協議会等で要望は進んでいると思うが、現実には開通まで相当な年月がかかってしまう。住民の安心、安全を守る道路、多くの人が村に来ていただける道路として大きな期待をすることであり、今後も、頑張りたい。

また、現道の小松く下尾井間であるが、枝が道路まで出ていたり、落石の危険がある箇所や曲がりくねって対向し難い箇所も多く修繕を依頼したい。



奥瀬道路Ⅱ期開通式 (H27.9/13)



# 村民登場「北山村に移住して」

前川 康洋



小さな新聞記事の「お  
くところ温泉の募集」記事  
を見たのが5年半前・・・。

北山村にはその昔遊び  
に来たことが有り、お  
くところ温泉には当時も入浴  
に訪れていて、硫黄の香  
りのするいい温泉だなあ  
という印象が残っていま  
した。しかし、訪れたの  
が冬ということもあって  
人も少なく、何にもない  
ええところやなあという  
印象でした。常々、田舎  
で釣りでもしながらのん  
びり暮らしていきたいと  
思っていた僕は、その小  
さな記事に飛びつきまし  
た。

の妻と出会い、子供にも  
恵まれ、さらに北山村で  
家を購入することになり  
気がつけばもう5年半、  
あつという間の5年半で  
した。僕が、おくところ温  
泉で仕事をさせていただ  
くことになったのは、奇  
跡に近いものでした。

一度はあきらめた北山  
村だったので、縁が  
あつておくところ温泉で働  
かせていただくことにな  
りました。生活面での不  
便や不安はそれほど感じ  
てはいなかったのですが、  
仕事に関してはそれまで  
の仕事とはまったく違  
うものでしたので、不安い  
っぱいでした。毎日、勉強  
と反省の日々、それでも  
毎日楽しくてやりがい  
があつて充実している1年  
でした。

2年目には、おくところ  
温泉のリニューアルとい  
う大きな出来事があり、  
僕の気持ちも心機一転。  
リニューアルしたおくと  
る温泉では、設備なども  
新しくなり、また勉強す  
ることがいっぱい。失  
敗ばかりの毎日。それで  
も村民の方や、お客様に  
叱咤激励していただき、  
なんとかやってこられた  
ので、大変感謝しており  
ます。

プライベートでは、結  
婚、さらに妻の妊娠とい  
う嬉しいことが続いたこ  
ともあり、公私共に非常  
に充実した2年目でした。  
40歳になって、もう半ば  
諦めていた結婚だったの  
で、自分でもビックリ。  
北山村に來なければ、ま  
だきつと独身で、きつと  
子供にも恵まれていなか  
つただろうなと思うと、北  
山村に來たことが僕の  
人生を大きく変えたんだと  
実感します。

3年目は、おくところ温  
泉が村営にかわり、また  
もや心機一転。公社時代  
とはまた、仕事内容もか  
わり、さらにおくところ温  
泉で調理の仕事にも携わ  
るようになり、また新し  
い気持ちで3年目を過ご  
せることになりました。  
さらに、子供が生まれ父  
親なり、仕事もプライベ  
ートもますます責任感をも  
つてやっつけていかなければ  
ならないと思いが強くなりま  
した。

北山村との出会いは僕  
が20代の頃。まだ、169号  
線も整備されていない頃、  
不動トンネルもなかった  
頃、七色ダムの湖畔を車  
で走りながら、道を間違  
えたんだではないかと心配  
しながら運転していた記  
憶がよみがえります。



議 会 日 誌

4月

- 9日 北山小中学校入学式
  - 10日 総務建設常任委員会(役場)
  - 12日 和歌山県議会議員選挙投票日
  - 15～17日 新年度の陳情(東京)
- 災害対策特別委員会の視察(白馬村)

5月

- 1日 北山村シニアクラブ定期総会
- 3日 北山川観光筏下り開航式
- 12日 郡町村議会議長会総会(那智勝浦町)
- 13日 平和行進(村民会館前)
- 15日 各区からの陳情(役場)
- 18日 県町村議会議長会総会(和歌山市)
- 20日 総務建設常任委員会(役場)
- 22日 社会福祉協議会評議委員会(社協)
- 26～28日 町村議会正副議長研修(東京)
- 29日 新宮広域圏臨時会(新宮市)

6月

- 1日 近畿自動車道建設促進同盟総会(紀宝町)
- 2日 村政報告会(村民会館)
- 4日 熊野川流域連合総会(新宮市)
- 7日 新宮紀宝道路 中心杭打設式(新宮市)
- 9～10日 前芝県議会議長との面談(和歌山市)
- 10日 国体実行委員会(村民会館)
- 12日 総務建設常任委員会(役場)
- 19日 議会運営委員会・全員協議会(役場)
- 22～24日 北山村議会6月定例会
- 25日 村民運動会実行委員会(役場)

7月

- 7日 高速道路紀南延長促進協議会(新宮市)
- 8日 熊野川流域ダム湖下流団体協議会(新宮市)
- 10日 総務建設常任委員会(役場)
- 15～17日 全国森林環境税全国大会(新潟県村上市)
- 17日 国道42号改良促進協議会(串本町)
- 24日～25日 近畿地方整備局へ訪問(大阪市)
- 27日 南紀園臨時議会(太地町)
- 30日 後期高齢者医療広域連合会議(和歌山市)

8月

- 7日 国道169号開通イベント(大阪京セラドーム)
- 15日 北山村追善盆踊
- 28日 総務建設常任委員会(北山村)
- 30日 北山川ラフティング大会

9月

- 4日 県政報告会(村民会館)
- 7日 議会運営委員会・全議員協議会(役場)
- 9～11日 北山村議会9月定例会
- 13日 奥漕道路2区間開通式
- 17日 北山村敬老会
- 26日 わかやま国体総合開会式
- 29日～11月4日 国体カヌー競技大会

10月

- 8日 東牟婁郡町村議会議長会(那智勝浦町)
- 12日 村民運動会
- 19日 全議員協議会(役場)
- 20日 町村議会広報研修(東京)
- 20～21日 国会議員&国土交通省への陳情(東京)
- 23日 東牟婁郡町村議会議員研修(那智勝浦町)
- 24日 全国障害者スポーツ大会(和歌山市)

広 報 委 員 員 員 員 員 員

今年も残すところ2ヶ月余りとなりました。「奥漕道路Ⅱ期開通」や「わかやま国体の開催など、何か忙しく、話題が尽きなかった記念の年でした。そして12月6日(日)は、北山村議会議員の選挙が行われます。月日の流れるのは早いもので、議員生活の4年間は短くも長い日々であったように色々な思い出がありました。

村民の皆様への情報誌として「議会だより」の発行もすでに15回目です。思い起こせば議員6名で共に色々な場面で意見等論議し、喧々諤々しながら、紙面の編集・構成に携わってきました。皆様から賛否のありました「議員コラム」や「村民登場」「暮らしの情報」など、少しでも楽しく興味をもって頂くための記事も掲載してきました。これからも議員構成が変われど、市政に関心をもって頂くため、情報の発信は最重要であると考えます。今後も皆様の温かいご支援を宜しくお願いします。



わかやま国体カヌー競技(スラローム) 北山村在住の選手も活躍しました。  
伊藤由佳選手 2種目優勝  
金谷徹選手 4位・5位